

平泉世界遺産の日（仮称）条例制定について（情報提供）

【要 旨】

県では、平泉の世界遺産登録の日（6月29日）を「平泉世界遺産の日」として条例制定すべく、平成26年4月1日の施行を目指して準備を進めているところですが、制定された場合におかれましては、**市町村とより一層連携して平泉世界遺産に関する取組を実施**して参りたいと考えておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

また、各市町村におかれましても、条例制定の趣旨を御理解のうえ、**平泉文化に関する普及啓発及び関連イベントの実施等の取組について御検討**下さるようお願い申し上げます。

1 経緯及び条例制定の趣旨

平成23年6月、平泉の文化遺産が世界遺産に登録されたことを契機に、県では、市町村及び関係団体等と連携して、平泉の価値及び理念の普及等、様々な取組を行ってきたところです。

こうした取組の中、平成25年6月4日、平泉町及び一関商工会議所、市長会、町村会等が中心となり、「平泉の日を実現させる会」が設立され、平泉の世界遺産登録の日（6月29日）を「平泉世界遺産の日」として制定するよう、県及び県議会へ要望がありました。

県では、制定環境が整っているかどうかを確認するため、沿岸市町村長や有識者等を対象に意見聴取、アンケート調査を実施（5月末～6月上旬）したところ、特段の異論はなく、全ての関係者が趣旨に積極的に賛同の意を示したところであり、10月に実施したパブリック・コメントにおいても、賛同の声が寄せられました。

このような状況を踏まえ、世界遺産に登録された平泉の文化遺産について、県民の理解を深め、適切な保存により次世代へ継承していくとともに、遺産を活用した地域振興を図り、もって、人と人、人と自然が共生した地域社会を築くため、条例により平泉世界遺産の日を設けようとするものです。

2 条例制定に関する県の考え

世界遺産に登録された平泉文化遺産は、本県のかげがえのない貴重な財産であることから、これを県民等に広く周知するとともに、適切な保存により、確実に次の世代へ伝えていくことが重要です。

さらに、世界遺産を活用した国内外への情報発信、地域の人材の育成、伝統工芸品を活用した製品の開発等、様々な取組に波及させることで、本県全体の地域振興に大いに寄与するものと考えています。

このためには、県のみならず、市町村、関係団体等の関係者が互いに連携しながら、県民一人ひとりが主体的に行動し、取組に参画することが極めて肝要です。

このことから、県の姿勢を明確にし、これらの取組を毎年定期的を実施するため、条例により平泉世界遺産の日を定めようとするものです。

3 条例案の構成（骨子）

項 目	内 容
1 目的	○ 世界遺産に登録された平泉の文化遺産について、県民の理解を深め、適切な保存により次世代へ継承していくとともに、遺産を活用した地域振興を図り、もって、人と人、人と自然が共生した地域社会を築くため、平泉世界遺産の日を設ける。
2 平泉世界遺産の日	○ 平泉の文化遺産が平成23年に世界遺産一覧表に登載された6月29日とする。
3 県の責務	○ 県は、条例の目的の実現を図るため、市町村及びその他の団体と連携を図りつつ、平泉世界遺産に関する普及啓発、保存、地域振興に向けた取組を推進するものとする。
4 県民の自発的な取組の促進	○ 県は、平泉世界遺産の日を契機とする県民の自発的な取組の促進に努めるものとする。